【資料 1】

2017年6月16日
行政報告資料
町田市民病院事務部

行政報告

町田市民病院中期経営計画（2012年度～2016年度）の進捗状況について

町田市民病院では、質の高い医療サービスを提供し、安定した病院経営を維持していくために、「町田市民病院中期経営計画（2012年度～2016年度）」を策定し、これに基づき、経営改善を進めております。

このたび、2016年度全期の進捗状況をまとめましたので、その結果を報告いたします。

添付資料

- ・ 町田市民病院中期経営計画の進捗状況（2016年度全期）について

町田市民病院中期経営計画の進捗状況（2016年度全期）について

(1) サービス向上に関する取組

項目	2016年度全期の実績
<p>①救急診療体制の充実 【目標】 救急患者数 1,500人/月 【達成時期】 2016年度</p> <p>【目標】 救急からの入院患者数 300人/月 【達成年度】 2016年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小児科などの診療体制の充実により、救急患者数は月平均1,357件(前年度比6.8%増)と大幅に増えました。 ・救急からの入院患者数は、月平均で292人(前年度比13.2%増)、救急から入院となった割合は21.5%でした。 ・救急車による受入患者数は月平均で462人(前年度比5.4%増)となり、過去6年間で最も多くの患者を受け入れました。東京消防庁提供の資料によると4月～12月の全時間帯での救急車応需率平均は74.5%(前年度比3.3ポイント増)でした。
<p>②地域周産期母子医療センターの継続実施 【目標】 継続 【達成時期】 —</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2015年度に引き続き小児科医師により地域周産期母子医療センター機能を継続しました。 ・小児科医6名を新たに確保し9名となったため、新生児の積極的な受け入れが可能となり、NICU(新生児集中治療室)の病床利用率は82.9%(前年度比34.3ポイント増)、GCU(新生児治療回復室)の病床利用率は27.6%(前年度比26.6ポイント増)と大幅に増えました。 ・8月に「周産期医療ネットワーク連絡協議会」を開催し、近隣の産婦人科医に加えて相模原市の産婦人科医や市内の小児科医を招いて、医師や助産師等53名が参加しました。
<p>③外来化学療法センターの充実 【目標】 センター受入患者数 400人/月 【達成時期】 2016年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外来化学療法センターでは、引き続き6つの診療科(内科、歯科口腔外科、外科、産婦人科、泌尿器科、皮膚科)で処置を行いました。 ・一部の薬剤(ホルモン注射)を、投薬期間1ヶ月のものから3ヶ月のものに切り替えて採用したことで、センター利用者数が減少しました。 ・センター受入患者数は、月平均で352.7件(前年度比3.3%減)でした。
<p>④医療連携の推進 【目標】 紹介率60%、逆紹介率30% 【達成時期】 2016年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小児科と耳鼻咽喉科等で優先予約枠を新設したことにより、地域連携予約件数は4,128件となりました(前年度比580件増)。初診紹介患者数は15,883人(前年度比419人増)となり、紹介率は64.3%(前年度比4.6ポイント増)となりました。 ・逆紹介推進のため、外来患者で病状の安定した患者をかかりつけ医に積極的に紹介した結果、逆紹介患者数は12,806人(前年度比2,406人増)となり、逆紹介率は51.9%(前年度比11.7ポイント増)となりました。 ・「訪問看護研修会」や「町田安心して暮らせるまちづくりプロジェクト多職種研修会」に病院から医師・看護師・技師・ソーシャルワーカーなど多職種が参加し交流しました。 ・8月に開催した「周産期医療ネットワーク協議会」では新たに相模原市の産婦人科医や市内小児科医を招き、医師や助産師等53名が参加し交流を深めました。

町田市民病院中期経営計画の進捗状況（2016年度全期）について

(1) サービス向上に関する取組

項目	2016年度全期の実績
<p>⑤災害拠点病院としての機能の充実 【目標】 研修・訓練の充実 【達成時期】 2012年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練のアンケートを基に、災害時活動マニュアルの改訂作業に着手しました。 ・市の総合防災訓練の一部として、医療機関との連携訓練を実施し、災害拠点病院としての役割等の確認をおこないました。 ・自家発電設備、発電機(CGS)の更新工事が完了し、災害時においても、高出力の検査機器を含めて病院機能の全てを継続することができる発電量を確保できるようになりました。
<p>⑥患者満足度の向上 【目標】 入院90%超、外来85%超 【達成時期】 2014年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・患者満足度アンケートを実施しました。入院の全体評価は84.3%（前年度比2.1ポイント減）、外来は79.9%（前年度比0.1ポイント減）となりました。 ・入院で要望の多かった給食の改善のため、祝膳の見直しや民間活力による献立作成の多様化を含めた給食業務委託のプロポーザルを実施しました。また、職員の接遇力向上のため、1月に接遇研修を行いました。
<p>⑦情報提供の充実 【目標】 病院ホームページアクセス件数 12万件/月 【達成時期】 2016年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに診療科別休診情報、病院指標(DPC制度下における全国統一の定義と形式に基づいた指標)を掲載しました。 ・ホームページを見やすくするため、トップページのリニューアルを行いました。 ・2016年度のホームページアクセス数は、月平均で約9万3,500件となりました。
<p>【目標】市民公開講座開催回数 4回/年 【達成時期】 2012年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民公開講座を4回開催し合計329人の市民が受講しました。 第1回 脳卒中ってどんな病気？ -予防・治療のおはなし- 106名 第2回 8月夏休み子ども病院見学会 41名 第3回 認知症になるとどうなるか？ 107名 第4回 それって本当に風邪？～風邪の見分け方、対処のしかた～ 75名 ・講座に認定看護師や管理栄養士の話を加えるなど、内容の充実に努めました。

町田市民病院中期経営計画の進捗状況（2016年度全期）について

(2) 収支改善に関する取組

項目	2016年度全期の実績
<p>① 病床の安定的稼働 【目標】 病床利用率 86% 【達成時期】 2016年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・救急患者の受け入れを積極的に行ったこと等により、新規入院患者数が増加し、延入院患者数は月平均11,017人(前年度比6.3%増)、病床利用率は81.0%(前年度比4.9ポイント増)となりました。 ・平均在院日数は11.1日(前年度比0.1日減)でした。
<p>② 診療単価の上昇 【目標】 入院 53,500円 外来 9,500円 【達成時期】 2016年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医師の体制が整ったことで上位の施設基準である「小児入院医療管理料2」、「画像診断管理加算2」を取得することができました。 ・病院事業目標に掲げた施設基準である「褥瘡ハイリスク患者ケア加算」を4月に、「心大血管疾患リハビリテーション(I)」を9月に、医師事務作業補助体制加算の上位基準(25対1)を11月にそれぞれ取得いたしました。 ・利用率が低い特別室の料金を見直し、利用率の向上を図りました。また、一部の特別室を無償とし、重症者の療養環境体制を整備しました。 ・6月からC型肝炎の高額薬品を院外処方に切り替えたため、外来単価は減少しました。 ・2016年度全期の診療単価は入院57,356円(前年度比1.8%増)、外来11,784円(前年度比7.9%減)となりました。
<p>③ 薬品費の削減 【目標】 ジェネリック医薬品採用数 175品目 【達成時期】 2016年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年度を通して、内服薬だけでなく外用薬や注射薬についてもジェネリックの採用を積極的に進めた結果、ジェネリックの使用割合は87.8%となりました。 ・採用品目数は345品目となり、目標を達成しました。
<p>④ 省エネ活動の推進 【目標】 電気、ガス、水道使用量 10%減 【達成時期】 2016年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ガス使用量は、自家発電設備(CGS)工事により上半期は減少しましたが、下半期は天候の影響で空調の加湿運転を例年より早く開始したこと、気温低下(11月・1月)及び3月以降の自家発電設備(CGS)の運転により最終的に前年度より増加しました。また、水道使用量も加湿運転が早まったことにより増加しました。 【前年度比】電力使用量 1.1%増、ガス使用量 4.9%増 水道使用量 5.4%増 ・2008～2010年度との比較では、電力使用量については照明の間引きやLED化の推進により8.6%減少、ガス使用量については冷温水発生器の運転調整や設備改善工事などにより45.6%減少、また水道使用量については水圧調整やトイレ洗浄水の中水使用などにより26.5%減少し、概ね目標を達成しました。

町田市民病院中期経営計画の進捗状況（2016年度全期）について

(3) 経営基盤の強化に関する取組

項目	2016年度全期の実績
①目標による診療科の運営 【目標】 目標設定・目標に基づく運営 【達成時期】 2012年度	<ul style="list-style-type: none"> ・2016年度バランストスコアカード(BSC)の中間・年度末確認を行うと共に、2017年度BSCを作成しました。 ・各部門責任者と病院幹部とのヒアリングを行い、各診療科の目標や課題を確認しました。
②病院機能評価の更新 【目標】 病院機能評価の認定更新 【達成時期】 2012年度	<ul style="list-style-type: none"> ・領域毎に部門別のセルフ監査を実施し、必要な業務や手順の確認等を実施しました。 ・「診療マニュアル」の更新を行いました。 ・「病院機能評価3rdG:Ver.1.1」の受審(2017年度)に向けたスケジュールを策定しました。 ・2017年度に二次セルフ監査やコンサルによる病棟ラウンド・院内巡視・ケアプロセス調査を行うための院内調整を行いました。

(4) 人材育成・確保に関する取組

項目	2016年度全期の実績
①質の高い医療従事者の育成 【目標】 臨床研修指導医数 16名 【達成時期】 2016年度	<ul style="list-style-type: none"> ・医師については、人事考課の結果を処遇に反映しました。医療技術職、看護職については、5、6月に人事考課の本格実施に向けた研修会を実施しました。 ・2016年度認定看護師研修を1名が受講しました。 ・臨床研修指導医については2名が講習会を受講し、17名となりました。
②医療従事者の安定確保 【目標】 7対1入院基本料の維持 【達成時期】 —	<ul style="list-style-type: none"> ・小児科医師6名を採用し、診療体制を強化することができました。 ・看護師38名を採用しました。 ・医療技術職については、診療放射線技師1名、理学療法士1名、細胞検査士1名、臨床工学技士1名を採用しました。